

山口県での「エシカル消費」への取組

「倫理的消費(エシカル消費)」普及・啓発シンポジウム 「エシカル・ラボ in 山口」を開催

エシカル消費の概念の普及・啓発を目的として、消費者庁と山口県の主催により、「エシカル・ラボ in 山口」を開催しました。「エシカル・ラボ」は、平成27年に第1回が東京都で開催され、その後、徳島県、鳥取県、秋田県で開催されており、本県での開催が都道府県レベルでは5番目となります。当日は、県内でエシカル消費に取り組む方の発表などの後、村岡副知事が「山口エシカル宣言」を行いました。

- 開催日** 平成30年10月20日(土)
- 会場** セントコア山口(山口市湯田温泉)
- 主催** 消費者庁、山口県
- 後援** 環境省、農林水産省、文部科学省
- 参加者** 約150人



山口エシカル宣言

ここ山口は、国内外に誇れる産業の集積や優れた立地環境、素晴らしい観光資源や農林水産資源、そして豊かな自然、輝く歴史や文化など、多くの魅力に溢れており、これらを後世にしっかりと引き継いでいく必要があります。

一方、直面する人口減少問題の克服をはじめとする様々な困難をはね返し、活力ある、県民誰もが将来に希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けることができる県づくりに全力を挙げて取り組んでいく必要があります。

こうした取組を着実に進めていく上で、県民の一人ひとりが社会的な課題を認識し、課題解決に向けた行動をすることが重要です。特に、普段の生活の中で、人や社会、環境に配慮した消費行動、いわゆる「エシカル消費」に気づき、取り組むことが最初の大きな第一歩となります。

今年は、明治改元から150年という大きな節目の年です。150年前、我々の先人たちは、「志」と「行動力」により、大変な苦難を乗り越え、明治維新、そして、極めて短期間で近代化を成し遂げました。

今こそ私たちは、先人たちに学び、この困難を突破し、未来を切り拓いていかなければなりません。

明治改元150年の今年、「維新胎動の地 山口県」において、「私たちの消費行動で世界の未来を変えていく」という高い「志」を持ち、エシカル消費の推進に新たにチャレンジしていくことをここに宣言します。

山口県庁で実施している 主な「エシカル消費」の例

- レジ袋削減の推進**
山口県容器包装廃棄物削減推進協議会によるマイバッグ運動等の啓発。
- グリーン購入の推進**
県庁における環境負荷の低減に資する製品等の調達を推進するため、「山口県グリーン購入の推進方針」及び「山口県グリーン購入ガイド」を定め、毎年実績を集計し公表。
- 地産・地消の取組**
県内の身近な農林水産物を県内で消費する取組。

- 食品ロス削減の推進**
山口県食品ロス削減推進協議会の「やまぐち食べきり運動」による、食べ残し削減等の啓発。
- ふしの干潟いきもの募金**
権野川河口干潟等の自然再生を進めるため、生態系サービスを活用した寄附付き商品、イベント参加費への寄附額の付加等により、募金活動を実施。
- 授産製品販売会の開催**
障害者就労施設の収益向上に向けた販路拡大を目的として、授産製品の販売会を実施。



県内の団体等における「エシカル消費」の取組例

生活協同組合 コープやまぐち

環境に優しい商品の取扱いと 利用普及

取組始期 / 昭和40年代頃～

環境汚染問題が表面化した頃から洗剤や家庭用雑貨品等、地球環境に配慮した商品の開発や取扱いを行っています。近年では、持続可能な漁業を推奨する団体「MSC(海洋管理協議会)」や地球環境保全のために熱帯雨林の維持を目的に設立された団体「レインフォレスト・アライアンス」の認証商品等の取扱いと普及を行っています。



特定非営利活動法人 フードバンク山口

「もったいない」を「ありがとう」へ 変えるしくみづくり

取組始期 / 平成26年3月～

食品ロスは消費者の消費行動が原因となって発生することもあります。フードバンク山口は食品を必要な分だけ消費し、できるだけムダにしないライフスタイルの普及啓発を実施するとともに、ムダになっている食品を食の支援を必要としている方に配布し、困難な状況にいる方々の自立を支援することで格差の縮小を図っています。



フードバンク山口活動時集合写真

山口県立大学公認サークル YPU TFT Project

世界の食の不均衡の是正

取組始期 / 平成21年4月～

世界の食の不均衡を解消するため、ヘルシーなTFT(Table For Two)メニューの販売などを通じて、途上国の給食として1食につき20円の寄附を行うNPO法人Table for Two Internationalの学生支部。大学の食堂や売店などでのオリジナルランチやフェアトレードチョコレートなどの販売、支援国の一つであるフィリピンの小学生との交流などに取り組んでいます。



TFTフィリピンスタディツアー [左] 支援小学校の子どもたちの記念写真 [右] 支援小学校の子どもたちの給食風景

山口県地域消費者団体 連絡協議会

花に産地表示を!

取組始期 / 平成24年～

花には他の農産物のような産地表示が無く、消費者は花の産地を選ぶことができません。そこで、県産花きの地産・地消の推進に向けた取組を支援するため、山口県花き園芸推進協議会などと連携して平成30年度に県産花きのラベルを作成しました。今後は、全ての県産花きへの表示を目指して活動してまいります。



県産花きのラベル



花の地産・地消表示啓発チラシ

※ここに掲載したものの以外にも、様々な団体等で取組が行われています。